

2021年度・司法福祉公開講座

支援希求性について考える

拡大事例検討

目的: 援助を提供する仕事をしていますと、なかなかご自分の状況を話してくださらない方、困っていると想像できるのに「大丈夫です」といなくなる方等々がおられます。とくに司法福祉にかかわっていると、何度もお会いする方がいます。その方だけでなく子どもさんがいる場合もあり、どうにか介入しなくてはならないと思われまます。何らかの生きづらさを抱えており、支援の必要があると思われまますが、福祉は申請主義なので、声はかけるけれど強制はできません。今回は事例をもとに、アセスメント、支援計画、実際の介入など、事例検討を行います。新しい犯罪の発生、再犯を防ぐために司法、医療、福祉等の関係者そして当事者や市民と考えたいと思います。

日時: 2022年3月5日(土) 午後1時より4時

会場: オンラインと会場(先着20名) 全国心身障害児福祉財団ビル7階(豊島区南大塚3-43-11)

主催: 公益社団法人 東京社会福祉士会(豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5階)

企画: 公益社団法人 東京社会福祉士会: 司法福祉委員会 (TEL. 03-6907-0511)

内容(敬称略)

□シンポジウム: ボクは見て欲しかった一ファーストノックはどこにあったか

やってみよう事例検討

東京ボランティアセンター所長

山崎美貴子

事件の取材を通して

ルポ「誰もボクを見ていない」著者

山寺 香

親和性社会行動の研究を通して

理化学研究所・親和性社会行動研究チームリーダー

黒田 公美

司法の視点から

日野・子どもと家族法律事務所 弁護士

木村 真実

コーディネーター

足立区ポルテあすなる

橋本久美子

定員: 基本はオンラインです。会場だけは定員があります。先着20人です。

受講料: ①一般 2,000円、②道府県社会福祉士会の会員・保護司 1,500円、
③東京社会福祉士会の会員・学生 1,000円

申込み: 下記のURLからお申し込みください。QRコードも利用いただけます。

<https://www.kokuchpro.com/event/65db94f8fdc58790efe370a23cf8399b/>

なお、録画配信はいたしません。



問合先: 東京社会福祉士会: 司法福祉委員会 事務連絡先(早稲田すぱいく)

TEL. 03-6907-0511 E-mail: office@waseda-spike.jp